

兵庫陶芸美術館 開館15周年記念特別展

THE備前  
BIZEN

クロストーク

2020.  
4/18  
sat

# 備前焼とは何か

## —現在と未来—

東京国立近代美術館工芸課長  
本展監修者

KARASAWA Masahiro

唐澤 昌宏

×

隠崎 隆一

KAKUREZAKI Ryuichi

出品作家

上と語る、森の中の美術館  
兵庫陶芸美術館  
The Museum of Ceramic Art, Hyogo



## クロストーク

## 備前焼とは何か—現在と未来—

本展出品作家・隠崎隆一氏と本展監修者・唐澤昌宏氏による対談を開催します。「備前焼とは何か—現在と未来—」をテーマに、それぞれの視点を交えながら「備前焼」についてお話しいたします。

日時／4月18日(土)13:30～15:00 (開場は13:00)

講師／隠崎隆一氏 (出品作家)

唐澤昌宏氏

(東京国立近代美術館工芸課長・本展監修者)

会場／兵庫陶芸美術館 研修棟1階 セミナー室

定員／110名 (事前申込制・先着順)

参加費／無料

※ただし、本展観覧券 (当日半券可) が必要です

## 隠崎隆一 (かくれざき・りゅういち)

1950年長崎県福江市 (現・五島市) 生まれ。大阪芸術大学芸術学部デザイン学科卒業後、デザイン会社に勤務。1976年に岡山県備前市伊部で、岩本修一氏、伊勢崎淳氏らに師事する。2015年日本陶磁協会賞金賞受賞。2019年には岡山県指定重要無形文化財保持者に認定。主な展覧会に「隠崎隆一事に仕えて」(菊池寛実記念 智美術館/東京)、「島村光・金重有邦・隠崎隆一展」(岡山県立美術館) など多数。

## 唐澤昌宏 (からさわ・まさひろ)

1964年愛知県名古屋市生まれ。愛知県立芸術大学大学院美術研究科修了。愛知県陶磁資料館学芸員を経て、2003年に東京国立近代美術館主任研究員、2010年より現職。著書に『差別ガイド日本のやきもの瀬戸』(淡交社)。主な展覧会の企画・監修に「青磁を極める—岡部嶺男展」、「現代工芸への視点—茶事をめぐって」、「青磁のいま—受け継がれた技と美 南宋から現代まで」など多数。

## ◆お申込みについて

ご参加には事前にお申込みが必要です。

チラシ下部の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXもしくは郵送でお送りください。お電話または当館ホームページからもお申込みいただけます。

※お申込後のキャンセルはご遠慮願います。やむを得ずキャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。

## [お申込・お問合わせ先]

兵庫陶芸美術館 学芸課

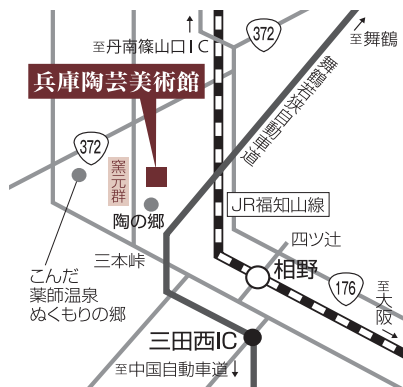
〒669-2135

兵庫県丹波篠山市今田町上立杭4

TEL 079-597-3961

FAX 079-597-3967

HP <http://www.mcart.jp>



## [鉄道・バスをご利用の場合]

- JR福知山線「相野駅」下車  
駅前より神姫グリーンバス「兵庫陶芸美術館」「こんだ薬師温泉」または「清水寺」行き乗車約15分、「兵庫陶芸美術館」下車  
※相野駅発バス時刻 9:35、10:20、12:50、15:45、16:47  
土・日・祝は10:50、11:50、13:50が増便(2020年1月現在)
- JR福知山線「篠山口駅」下車  
4月・5月の土日祝日には直通バスを運行予定。  
ダイヤ等は美術館へお問い合わせください。

## [自動車をご利用の場合]

- 舞鶴若狭自動車道・三田西ICより約15分、または丹南篠山口ICより約20分
- 中国自動車道・滝野社ICより国道372号を東へ約30分
- 阪神方面より国道176号を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約15分
- 駐車場無料、大型可

## ◆参加申込書 | クロストーク 「備前焼とは何か—現在と未来—」 2020年4月18日(土)

ふりがな 氏名	*必須		申込人数	*必須		住所 (市区町村まで)	*必須	
	TEL	FAX		都道府県	市区町村			
連絡先	TEL	— —	FAX	— —	E-MAIL			

【個人情報の取扱い】 本参加申込に係る個人情報は、お客様への「当館からの連絡・お知らせ」のみに活用し、これらの目的以外には使用しません。